



甘楽町の春を満喫

『キラかん』実施報告

3月から5月にかけて行われた「キラツとかんら観光キャンペーン」ではさまざまなイベントを開催し、甘楽町の魅力を広く発信しました。期間中は、5万人を超える人がイベントに参加し、風景や匂の味覚交流で春の甘楽町を満喫しました。
キラツとかんら観光キャンペーンは5月末で終了しましたが、これからも多くの皆さんに甘楽町の魅力を知っていただくよう、引き続きおもてなしの心でお迎えます。



武者行列



さくらマラソン

観光キャンペーンの主なイベント

イベント名	実施日	来場者数
楽市楽座inかんら	3/3	3,000人
国指定名勝「楽山園」春の茶会	3/3	365人
観光フォトコンテスト展示会	3/3～4/1	1,458人
甘楽の雛祭り(メイン会場)	3/3～4/15	5,625人
笹森稲荷神社春季例大祭	3/10・11	5,000人
道の駅甘楽7周年記念イベント	3/18・25	4,448人
甘楽さくらウォーク	4/7・14	600人
さくら祭り「武者行列」	4/8	30,000人
さくらマラソン大会	4/15	2,257人
白倉神社春季例大祭	4/15	100人
那須こいのぼりの里	4/15～5/13	1,500人
稲倉神社春季例大祭・山開き	5/3	500人
タケノコの大名焼き	5/3・4	200人



甘楽の雛祭り

施設別来場者数 (期間3/1～5/31)

施設名	来場者数
国指定名勝「楽山園」	16,430人
長岡今朝吉記念ギャラリー	4,194人
歴史民俗資料館	1,803人
道の駅甘楽	90,192人
大手門お休み処	1,530人
古民家かふえ「信州屋」	1,946人
こんにゃくパーク	205,000人



さくらウォーク

一粒の麦から35年 さらなる友好を誓う

姉妹都市チエルタルド市で 記念式典・展覧会を開催



記念式典で友好交流推進を再確認した両市町の関係者

甘楽町とイタリア共和国チエルタルド市の友好親善姉妹都市提携が今年35周年を迎えました。

茂原町長を団長とした10人の使節団が同市を訪問し、6月1日にプレトリオ宮殿で開催された記念式典に参列しました。

また、ローマでは、在イタリア日本国大使館の片上慶一特命全権大使を訪問し、今後の交流推進への協力をお願いしました。

共同宣言

式典では同日本国大使館の吉村一等書記官の立ち会いのもと、35年にわたって培ってきた交流の歴史を振り返るとともに、クチーニ市長と茂原町長の宣言により、両市町の友好交流関係をより一層強化するため、お互い努力することが再確認されました。

また、草の根交流を推進する両市町の国際交流協会により、各種事業を通じてより一層相互理解を推進するために努力し、両市町と両協会が一体となって「一粒の麦」(※)を育むことが宣言されました。

記念事業展覧会

式典後、同宮殿では、記念事業展覧会「木工芸・書道展 清雅と品格」のオープニングセレモニーが行われました。同展覧会の出展者である人間国宝・名誉町民の須田賢司さん(小幡)による作品解説や書家の桐生楽山さん(雅号・小幡の桐生佳信さん)による書の実演も行われました。



→展示作品須田さん9点・桐生さん22点
や制作・書道用具を觀賞する来場者

←書の実演



※ 一粒の麦とは

新約聖書の一節。1983年10月に締結された友好親善姉妹都市協定書の中で、甘楽町とチエルタルド市は、友好親善の輪を世界各地に広め、世界平和のために「一粒の麦」として先駆的役割を果たしたいと念願。一粒の麦から始まった交流は青少年や使節団の相互派遣・文化交流・経済交流を続ける中で、友好の絆を育み、その絆がしっかりと地に根を張り、花を咲かせ、豊かな実りをもたらしてきました。



使節団員と市関係者の皆さん(チエルタルド市役所前)

参加者は、出展者の技や日本の文化、心に触れ、お互いの絆をさらに深めました。同展覧会は7月10日まで開催されます。